

## 工業用水道事業会計

### 主な収益の推移

(単位:千円)

項目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	前年度増減
給水収益	1,190,666	1,208,642	1,202,308	1,196,574	1,194,605	△ 1,969
共同施設管理収益	337,419	302,970	344,292	407,557	479,986	72,429

## 工業用水道事業会計

### 尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年
配水能力	170, 000 m <sup>3</sup> /日
配水管延長	62 km
給水社数	53 社
年間総配水量	22, 059, 000 m <sup>3</sup> (前年度比 -1. 6%)
1 日平均配水量	60, 436 m <sup>3</sup>
年間契約水量	47, 582, 000 m <sup>3</sup> (前年度比 ±0%)
1 日平均契約水量	130, 363 m <sup>3</sup>
年間総給水量	21, 836, 000 m <sup>3</sup> (前年度比 -1. 8%)
1 日平均給水量	59, 825 m <sup>3</sup>

#### (1) 工業用水道事業の施設のあり方

公営主要	他の事業体との連携による施設のあり方の検討や老朽化対策を講じるなど、工業用水の安定した供給を継続する。	97, 115 (655, 571)
P5	・園田配水場直流電源装置等更新設計 ・園田配水場監視制御設備機能改造 ・一津屋取水場電気設備等更新工事 等	

債務負担行為（8 年度提出分）金額 27, 644



園田配水場 供用開始：昭和 42 年

#### (2) 管路の計画的更新と維持管理

公営主要	「重要度・老朽度・耐震性」の 3 つの観点から配水管の更新優先度を設定し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対処的な修繕等を施すのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取組を推進する。	949, 300 (313, 968)
P6～7	・配水管整備工事 0. 8km 管路の耐震化率 見込み 67. 3% ・維持管理点検及び修繕工事	

債務負担行為（8 年度提出分）金額 527, 292